

令和3年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）④

令和3年9月28日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和3年度行政評価・外部評価④ 「障がい者自立支援事業」【福祉課】
開催日時	令和3年9月28日（火） 午後4時40分から午後5時40分まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 田村佳子、室 淳子、伊藤直樹、岡崎信久、近藤恵美子 <担当課> 福祉部長 川本満男、同部次長兼福祉課長 近藤かおり、 障がい福祉係長 長谷川礼菜 <事務局> 総務部次長 福岡隆也、行政課長 若杉雅弥、 課長補佐 伊藤 愁、庶務係長 加藤優作
傍聴者人数	1人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の移動支援事業の利用時間は、相談員と利用者が策定する計画なので、市の思いが反映しづらいのではないかと。 ・利用者や家族の理解、活用方法の啓発が重要であり、店舗や地域の事業者の障がい者の利用の理解も必要である。その視点での取組を推進すべきであり、成果指標として検討してもよいのではないかと。 ・利用しやすくなる環境が整うことで、利用者や利用時間が増えて、移動支援員の増員が30人では足りなくなることもあると思うので、利用したい時に利用できる体制強化を進めて欲しい。 ・成果指標に関して、利用時間を設定している理由は理解できたが、利用者、支援者などの現場の声を聴くことも重要だと思うので、事業所のチェックシートやアンケートを活用した評価も検討できるとよい。 ・事業本来の目的が、障がい者が住みやすく自立できる環境づくりであることを意識した成果指標を設定できるとよいが、利用者、支援者などのさまざまな立場もあり、難しいことは理解できる。引き続き検討していただきたい。
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援を利用する方の希望時間がどれくらい叶えられているかの達成度も評価の基準に含まれると、より利用者が利用しやすさの判断につながると思う。 ・成果指標に関しては、一人でも多くの方に利用していただく観点から、新規に支援事業を利用した人数や件数等を成果指標として捉えても良いのではないかと考える。 ・実際に利用した時間数の確認は、事業者からの報告とのことだが、チェック機能も必要だと思う。 移動支援員増員のための具体的な計画があるとよいと思う。
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<p>成果指標となっている移動支援事業が議論の中心となったが、数値的な成果指標が難しいと思うが、多くの方に利用してもらいたいという市の思いも理解できる。</p> <p>コロナ禍の影響もあり、より数値で評価しづらい部分も多く、今後も利用者の声を事業に反映できるよう努めて欲しい。</p>
---------------	--